

■春日潜庵 儒者、勤王家。幕末から事を起こしては投獄・幽居。維新後も西郷隆盛が門下を送るなど、大きな影響。

かすがせんあん

カボニン拿捕 1811＝ 京都鳥丸で、春日仲恭の子に生まれる。母は漢城岸子。字は子賛、幼名は直之助。

春日家は、源雅信をルーツとし、代々久我家諸大夫を務める家柄で、

水野忠成老中 1818＝ 7歳：

・・・・・・ 1820＝ 9歳：仲好と改名。早くも従六位上に叙される。

膝栗毛終・・・・ 1822＝11歳：父が死去。

はじめ五十嵐君山に師事、

日本外史・・・・ 1827＝16歳：崎門流鈴木遺音に入門し、朱子学を修めたが、

シボク追放・ 1829＝18歳：

司馬温公の「資治通鑑」を座右の書として、歴史への通暁を学問のベースとし、

鼠小僧磔・・・・ 1832＝21歳：友人神晋斎の家で「王陽明文録」を見て感動し、山田方谷・池田草庵ら儒者と交流して切磋琢磨、

高島砲術・・・・ 1834＝23歳：仲裏と改名。

滑稽+人情本 1835＝24歳：大塩平八郎を訪問。生家の役職たる久我家の加判になると、借財抱える久我家の家政改革に取り組み、

大塩平八郎乱 1837＝26歳：「王陽明全集」を熟読して、陽明学こそ自らの求めるものと確信、

適塾ホブン・ 1838＝27歳：久我家の家臣に儉約を求める以上、自らが酒豪であることも問題と、禁酒を実行するが、あまりの厳格さに、家臣から関白鷹司政通に訴えられ、閉門(塾居)百日となる。以後、出仕せず、私塾を開き子弟の教育に当たりながら、学問に邁進。

この間、久我家に出入りする勤王の志士らと交際するうち、尊皇思想に関心を抱き始め、

阿部正弘首座 1845＝34歳：

・・・・・・ 1847＝36歳：

北斎没・・・・ 1849＝38歳：佐賀藩士枝吉神陽(副島種臣の実兄)が入門した頃には、尊皇思想に傾倒。

国定忠治磔・ 1850＝39歳：\*一向に負債が改善しない久我家から、再び求められて、執政となるや、志士との交流は活発化、梁川星巖・横井小楠・橋本左内らが来訪、

ペリー来航・ 1853＝42歳：ペリー来航以降、議奏の久我建通を補佐して三条実万の信任を受け、

松下村塾・・・・ 1856＝45歳：

五ヶ国条約・ 1858＝47歳：\*条約勅許問題が起ると、深交のある梁川星巖の久我家入説を斡旋し、入京した西郷隆盛を高く評価し、隆盛から尊敬されて国事に奔走、ついに幕府の追及するところとなり、京都町奉行所に捕えられて入獄、

安政の大獄・ 1859＝48歳：安政の大獄が起ると、江戸に送られ、永押込に処せられた。以後、洛北紫野雲林院村の別宅に幽居、

桜田門外変・ 1860＝49歳：

生麦事件・・・・ 1862＝51歳：大赦により許されたが、内大臣建通は和宮降嫁事件に連坐、落飾・幽居する。

建通の謀臣として国事に尽力し、大久保利通・西郷隆盛と交遊、

薩摩藩士密航 1865＝54歳：

明治維新・・・・ 1868＝57歳：参与久我通久が大和鎮撫総督なったのを補佐、奈良県知事に任ぜられたが、事に連坐して投獄され、

戊辰戦争終・ 1869＝58歳：\*塾居を命ぜられ、以来、洛北平野村の本宅に屏居し、

初の日刊新聞 1870＝59歳：なお潜庵を尊敬する西郷隆盛から送られて来てた末弟小兵衛および門下十余人など、門弟を教育。

新政府が功名・利達求める人物ばかり多くなっていることを憂えて、

明治6年政変 1873＝62歳：

佐賀の乱・・・・ 1874＝63歳：征韓論に敗れて下野した西郷に政界復帰を促し、

西南戦争・・・・ 1877＝66歳：西郷が西南戦争で自刃すると、

大久保暗殺・ 1878＝67歳：\*後を追うように、没した。

門人に末広鉄腸・戸田石水らがいる。「陽明学真髓」「読易抄」「古本大義批点」「伝習録評点」「潜庵偶筆」「潜庵晩年集」「潜庵遺稿」。